

HIO YOG

教区新報

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号
(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
〔編集〕教区基推委広報部

1992. 4. 56号

三月三日午前十時半から別院で、教区基幹運動推進委員会総会が開催された。まず、赤松法雄教区相談員が本年度反省と、新年度へ向けての展望を述べた。本年度については「組住

研修道場開設準備

基推委総会で新年度計画を討議

職寺族同朋講座」は、お互い自分自身の研修としての取り組みがなされたか。当教区の連研は、総じて基礎知識を学び合うという方向で進められてきた。研修者の問いは、目先の願いや疑

問に終始している傾向がある。全組実施への取り組み、その他、各組織の伸び悩み、活性化をどうするかなど、運動計画の全般にわたっての反省。新年度については、宗門の方針である僧侶研修について、本山からの指示により当教区も実施予定であること。第二次教区基幹運動推進計画第一期二年目であり、教化センター設立・神戸別院改築総合計画を含めた展望について述べた。続いて分科会では、三專

新総務に豊原大成師



豊原大成師

松村了昌新総長の就任に伴い、三月二十六日、豊原大成師の総務就任が発表された。

豊原総務の所管は浄土真宗教学研究所、基幹運動本部事務局、宗務事業局(以上常設部門)。基幹運動本部長、蓮如上人五〇〇回忌法要事務所準備事務局長なども勤める。宗会議員二期、阪神西組西福寺副住職。

四月一日付け宗派人事で宗会議員・九折舜壽師の本廟局長就任が発表された。九折師の略歴は、昭和十七年龍谷大学専門部卒、二十五年揖電西組正専寺住職、六十年から宗会議員二期。現在、保護司・人権擁護委員・社会福祉法人すみれ保育園々長。

(福岡 智孝)

教区だより		4・5月			
7日(火)	別院仏婦総会	10時半	14日(火)~16日(木)	別院常例法座 杉本昭典師	1時半
8日(水)	別院仏婦定例法座 本川英暁師	1時半	17日(金)	保育連盟総会	3時
8日(水)~10日(金)	門徒推進員新旧役員会	10時	17日(金)~18日(土)	仏婦連盟総会	本山
10日(金)	教区相談員研修会	大谷本廟	21日(火)	少年連盟総会	3時
10日(金)	少年連盟役員会	3時	22日(水)~24日(金)	教区推進専従員中央研修会	大谷本廟
11日(土)~12日(日)	青年教化連絡協議会	京都	23日(木)	本願寺神戸別院改築 建設・推進委員会	10時半
12日(日)	仏壯常任委員会	10時半	25日(土)	兵庫教区教化センター設立	本山
13日(月)~14日(火)	教区相談員研修会	1時半	26日(日)	第6回恵信尼さま顕彰平和の日の集い	本山
14日(火)	青年僧侶の会街頭伝道	元町	5月2日(土)	江並教堂永代経法要	江並教堂
			7日(木)	第一土曜仏教講座 佐々木正典師	1時半
			10日(日)	別院仏婦定例法座 田中英明師	1時半
				門徒推進員連絡協議会総会	10時半



非僧非俗の実践家

学生時代にエキストラのアルバイトをしたこともあり、南禅寺門前のロケで「さま、だれだ」というセリフを今も覚えている城崎組光永寺の藤澤住職。教区少

休まず続けられている。住職が留守のときも自分たちでお勤めをし、お参り中に遊び回っている幼稚園児が讃仏偈を覚えていた。「子どものお参りがきっかけで

られることの多さを語る。ご門徒に誘われたことがきっかけで始めた藤澤住職の趣味は釣り。ご門徒の新築や出産のお祝いなどには自分で釣ったタイを持っていくそうである。自分の船を持ち、ご門徒と一緒に10~15kmの沖合に出ていくのが楽しみ。「隠れてコンコンするくらいなら、やめま



されど住職

年連盟のサマースクールでもお世話になった。三年程前から誰か呼びかけたわけでもなく、夕方、近所の子どもが本堂にお参りするようになり、一日も

小さな子どもを連れて親も寺に参るようになった。吹雪の日にたったひとりお参りにきた子があって、コタツに入っていた私は大きなショックを受けた」と教え

大阪府の中川和雄知事は、空席となっていた三人目の副知事ポストに、谷川秀善企画調整部長(五十八)を充てる人事案を十七日の府議会本会議に提案、同議会も同意した。谷川氏は、昭和三十二年四月、大阪府入り。生活環境部長、生活文化部長などを歴任し、平成二年四月から現職。同氏は阪神西組万徳寺住職。

大阪府副知事に 谷川秀善氏

和田博之師(わだ・ひろゆき)姫路中組安樂寺衆徒(三月二日、十六才で往生。「優教院釋祐真」)

長安俊栄さん(ながやすとし)揖電東組善導寺前坊守(三月二十一日、九十三才で往生。「慈心院釋尼妙聴」)

敬 弔

寺本弘之師(てらもと・こうし)加古川組報恩寺住職(二月二十九日、五十八才で往生。本願寺布教使。「常観院釋弘之」)

和田博之師(わだ・ひろゆき)姫路中組安樂寺衆徒(三月二日、十六才で往生。「優教院釋祐真」)

長安俊栄さん(ながやすとし)揖電東組善導寺前坊守(三月二十一日、九十三才で往生。「慈心院釋尼妙聴」)



今、教区に教化センター建設の構想ありて実行に移す段階にある。

連研未開催組への対応、他、▽同朋運動推進専門委員会(松島法城代表)・組同朋講座未開催組にどう働きかけるか。・部落解放基本法制定要求二次署名の目標達成。・「同和問題に取り組む兵庫真宗教団連絡会議」事務局の担当について、他、▽社会福祉推進専門委員会(藤野昌俊代表)

「尊いのちを大切に」のステッカー活用について。・ビハラ推進部会と実践会員による「まどか園」への取り組み報告、他。以上三専門委員会の報告を受けて全体会では、第一期計画二年目へ向けての協議が行われた。

平成4年度 兵庫教区一般会計歳計予算

Table with columns: 項目, 平成4年度予算額, 平成3年度予算額, 対比(△減). Rows include 〔歳入〕(經常部), 〔歳入〕(臨時部), 〔歳出〕(經常部), 〔歳出〕(臨時部).

平成四年度予算決まる 八五〇二万円、連研に力点

平成三年度兵庫教区定期教区会が三月二十四日、別院で開催された。土基教務所長は所信表明のなかで、基幹運動を教区活動の重要課題と位置付け、平成四年度の重点として、第七期の成果を期待して六月二十八日に第七期連研修了者大会を実施する。第八期連研全組実施へ向け、「門徒推進員養成連続研修会」を継続実施する。二、「組同朋講座」は基幹運動推進の重要課題であり、引き続き全組実施に向け必要な手配をする。また「同和問題に取り組み兵庫県宗教団連絡

考える。四、「過疎対策」は現地の状況を考慮し、展望をもった対策の実施が必要。同じく「教学研究機関の設置」は教区活動の根幹であり、具体的な課題の研究に向け検討を、の四点を述べ、これらの財政的裏づけとなる平成四年度兵庫教区一般会計予算案を含む財務議案が上程された。平成四年度兵庫教区一般会計予算は総額八千五百二十五万円で、総額は前年度予算より減額となるが、前年度宗費の増額による歳入の増額、歳出は基幹運動推進費の増額などとなっている。財務議案は一括質疑の後、満場一致で可決された。また、法規議案の兵庫教区教化センター推進委員会規則案については所信表明のなかで「法規議案提出の趣旨は、教区ならびに別院の将来を展望し、教区教化センターとしての機能を持つ別院の建築を計ろうとするもの」とある。この区令案は教区教化センターを建築するための推進委員会設置に関わる必要措置であり、教区の伝道教化体制を確立するための総合計画の一環として設置されるもの」と趣旨が説明された。その後、区令案と総合計画に関する質疑が行われ、可決された。これを受けて「教区会議員全員が強力に推進する」との決意表明があり、閉会となった。

HO誌

本山へ奉仕団

◆3月1日 門徒推進員研修会を播磨東組妙覚寺で。講師は山崎一朗師(出石組正福寺) テーマは「自証と救済」 ◆奈良教区吉野西組教蓮寺仏壯十二人が別院団参 ◆2日 保育連盟三役会を別院で ◆3日 教区基幹運動推進委員会総会を別院で ◆4日 布教団副団長会・役員会を別院で。三月十二日、豊岡教堂での四百年法要記念布教大会について ◆5日 教務所長会を本山で ◆京阪神都市開教会議を津村別院で。教務所長・担当者出席 ◆神明組仏婦奉仕団が本山へ ◆6日 和歌山教区仏婦二十周年大会に教務所長・教区委員長・担当者出席 ◆7日 別院仏婦役員会 ◆第一土曜仏教講座を別院で。講師は紅樫英顕師(相愛大学教授)。テーマは「まことの幸せ」 ◆8日 第四回若婦人の集いを別院で。四百四十人が参加。講師は基幹運動中央相談員・山内教領師。テーマは「育てられる」。質疑応答の進行をされた宮里哲秀研修指導員は「賑やかな雰囲気の中にも、落ち着いた学びの姿勢の見えた一日だった。山内師の講義は保護司としての経験などをふまえて、お念仏に生きる事の大切さを難しい言葉を使わずにお話いただき、親しみやすさがかつ深みのあるものであり方から皆とともにあることに気づく身に育てられるという事である。それは、悲しみを分かち合う人

440人、若婦人のつどい



熱気あふれる別院本堂

間のないことほど悲しいことはないのだから、人への思いやりが同時に私の掬りどころとなる身となることではないか。私がそこへ少しも帰ってこようとしなさい(氣づかない)から、私をおさめ取る(氣づく身とさせる)力を持った仏になられたのが阿弥陀様である。と。「育てられる」というテーマが深く胸に染み込み、うなずけた集いであつた」

宮崎との交流

◆9日 びばら実践活動研究会員ら十二人が夫栗郡一宮町の特別養護老人ホーム「まどか園」(上田芳史園長)で実践活動。当日は入居者全員が三チームに分かれてのゲーム大会。福笑いなどで盛り上がる。びばらのメンバーも応援の仲間に入って、顔馴染みになることから ◆夫栗組寺族婦人同朋講座を願寿寺で。講師は西脇正文師(揖電西組超念寺) ◆別院・教務所職員勤式研修。別院彼岸会を前に「般若舟讃」、「讚仏偈(律曲)」の練習 ◆9日、10日 豊岡教堂永代経法要。講師は和田智浄師(揖電東組源徳寺) ◆10日、11日 少年連盟が宮崎教区との交流協議会を別院で。今、抱えている諸問題が提言され、活発な意見交換となった。兵庫からは「自分たちが少年教化の必要性を確信してないのではないか」宮崎からは「勉強へ追い詰められない子どもが、安らぎ・遊びの場として気楽に参加して欲しい」塾・学校など現在の少年たちをとりまく社会環境をふまえることも、一方では、宗門、寺院の熱意不足なども指摘された

仏壮に参加を

◆11日 教化センター三役会を別院で ◆別院責役総代会 ◆12日 四百年法要記念布教大会を豊岡教堂で。講師は石田保孝(朝来組照福寺) 光森宣明(北摂組正覚寺) 福岡光哉(揖電東組円福寺) 松本龍圓(氷上東組明光寺) 太田唯念(播磨中組西念寺)の五師。百人以上のお同行で満堂のお参りでした。「最後の挨拶にあって聞かねばならない」というひとことに尽きますね」 ◆13日 第四期寺族婦人連統学習会(第三回)を姫路中組光源寺で。研修読本を中心に「釈尊とその教え」を学習した第四期も最終回に閉講式では「内容を変えて継続して行かなければならない学習会で、学ぶという姿勢がありがたい。お経の六事成就は、現に私に向かつての説法という味わいであり、お経に出会うことによつていよいよ聞法に励むことが大切」と教務所長が挨拶。修了後、希望者による懇親パーティも持たれた ◆同兵宗連役員会を兵庫入権会館で。教区から五人が出席 ◆14日、15日 仏壯連盟大谷本廟一泊研修会。五十一人が参加。「約半数のかたが初めての研修会だとまどいもあつたようだが、法座でのいろいろな意見を参考にしながら、今後の活動への参加を期待しています」と中尾理事 ◆15日 岡山北組連研修了式に教務所長出席 ◆14日、16日 別院常例法座。講師は松島法城師(多紀組専福寺) ◆16日 社推協常任委員会を別院で ◆17日 常備会を別院で ◆綱子組寺族婦人同朋講座を永念寺で。講師は近藤龍樹師(加古川組普光寺) ◆18日 兵庫女子短大卒業式に教務所長出席 ◆教化センター総務部会を別院で ◆19日 新宮組寺族婦人同朋講座を潮音寺で。講師は西脇正文師 ◆19日、21日 別院春季彼岸会。講師は岸井有俊師(滋賀教区野洲組興願寺)「浄土真宗の転悪成善の益は、悪がなくなるのではなく、転ぜられて行くのです」と強調されました ◆24日 教区会を別院で。来年度予算案と区令案が可決された。